

その他の木材・木製品製造業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	15~16	山林で五切作業をしているとき、チェーンソーで切った残りの材が、自分の方に押されてきて、左ひざに当たり、押し倒されて左ひざ内側のじん帯を損傷した。	65	1~9
4	11~12	山林現場で間伐作業を行っていたとき、切捨下部より頂上へと登りながら作業を進め、中間付近で作業していたところ、胸高10cm程度のスギを伐倒する際に伐倒木の下部に足場を位置取り伐倒してしまった為、伐倒木の根元が足の方へと落ちてきて右足首に当たった。	75	1~9
5	10~11	木質チップをトラックに積み込む作業をしていた際、積み込む作業が終わって二人で掃除していたところ、天井（高さ6m）にあるチップの排出口からチップの塊（30cm四方）が落下し、箒で掃除をしていた被災者の背中に直撃した。	33	30~49
6	9~10	カウンターレーンと客席の間の通路で検品、納品を行っていた。折り畳みコンテナから食材を出し、両手に物を持って移動しようとしたところ、コンテナに足が当たって体のバランスを崩し、転倒してしまった。手がふさがっていたため体左側を強打し、左大腿骨骨折した。	27	10~29
7	9~10	資材工場で先取り作業中、台車が後方へ戻るときに、台車のヘッドブロックが本人の左手甲に当たり負傷した。	77	1~9
12	10~11	木材加工工場内で、リップソーという機械で平板（約1000mm×20mm×100~150mm前後）を小割りする作業中に、板を割る途中で止まってしまった。機械を止めずに板を引き抜こうとしたところ、板が抜けてキックバックし、右腹下部を負傷した。	72	10~29

12	9~10	スプリッター（大径材割機）にて、直径約30cmのクヌギ材を割る作業中、材が割れきれなかったため、トビを使って材を引き寄せたところ、誤って自身の左足甲部に落ちてしまい、親指を骨折した。	10 19 ~ 29
----	------	---	---------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html